

◆ 現代人と孤独

〔 社 会 学 〕

開講単位： 4単位 担当者： 服部 慶巨

◆ 学習目標

人間は、社会生活において孤独を恐れる。特に、現代人にその傾向が強いと言われている。では、「社会」とは何か？「人間とは」とは？「現代人」とはどのような者のことを指すのか？そのような基本的な部分から解説を進め、現代に生きる我々の置かれている状況を社会学的な視点でとらえるのが、本講義の目指すところである。

◆ 授業方法

教科書・参考書・プリント・板書を用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・講義する。必要に応じて、視聴覚資料（CD, DVD, 漫画類）を多用する。

◆ 準備学習

特別な予習は必要としないが、講義で紹介された事例・理論・概念などを自分自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）してから次の講義に臨んでほしいと思う。社会学を単なる「机上の学問」としてではなく、日常のあらゆる場面と密接に関連した学問としてとらえてほしい。

◆ 授業計画〔各90分〕（各行18字程度で記入してください）

1回目 講義の目的・目標などの確認	14回目 人間関係の諸相と構造①
2回目 状況（情況）判断①	15回目 人間関係の諸相と構造②
3回目 状況（情況）判断②	16回目 人間関係の諸相と構造③
4回目 社会（学）とは何か？	17回目 人間関係の諸相と構造④
5回目 「社会的動物」としての人間①	18回目 人間関係の諸相と構造⑤
6回目 「社会的動物」としての人間②	19回目 孤独な群集①
7回目 文化とパーソナリティ①	20回目 孤独な群集②
8回目 文化とパーソナリティ②	21回目 孤独な群集③
9回目 文化とパーソナリティ③	22回目 孤独な群集④
10回目 文化とパーソナリティ④	23回目 現代日本の理解①
11回目 文化とコミュニケーション①	24回目 現代日本の理解②
12回目 文化とコミュニケーション②	25回目 まとめ
13回目 文化とコミュニケーション③	

◆ 教科書

『人間生活の理論と構造』夏刈康男（ほか） 学文社

◆ 参考書

『補強版ストレス・スパイラル』服部慶巨 人間の科学社

◆ 成績評価基準

終講試験（70%）、受講態度（20%）、レポート類（10%）で評価する。なお、全講義回数の3分の2以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

◆ E-Mail : hattori.yoshinobu@nihon-u.ac.jp